



検索・中野あきと

みどりと清流

日本共産党市議会議員 中野あきと事務所ニュース

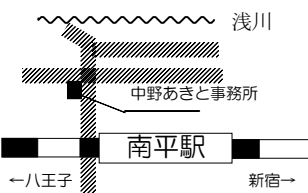
〒191-0041 日野市南平6-25-1 (南平ビル1階)

(電話・FAX 042-599-3350) 発行責任者 小山敏正

2020年
9月発行

第213号

法律・生活相談など
お気軽にお立ち寄り下さい



中野あきと市議9月議会一般質問 市政を揺るがす大問題 河内元副市長の不正疑惑追及

河内久男元副市長をめぐる一連の問題について、見えてきたものは、たんに元副市長個人の疑惑に止まらず、日野市政の「体質」にかかわる問題であると言えます。法を軽んじる、事実を隠す、つじつま合わせをすることが、行政内部に常態化しているのではないかと。無自覚のまま、このような市政にしてきた市長の責任は重大です。私は、問題の全容解明と刷新を求め質問します。以下は、質問で扱うテーマと要旨です。

中野あきと

①市立病院における河内氏の第2報酬(日当3万円)問題

なぜ、不法、不当な第2報酬が支払われるようになったのか。市長が事実・実態を掌握しながら隠し続け、明らかにした後は「知らなかった」とごまかしていることは重大。

②川辺堀之内区画整理組合による日野企業公社への業務委託問題

河内氏が副市長時代、受託能力のないことが明らかだった日野企業公社に、推薦・委託したのはなぜか。

組合↓企業公社↓民間業者への再委託が、いわゆる『中抜き』という形

で行われていたのではないかと。

企業公社への調査は行っているのか。なぜ、企業公社の情報収集や調査を求める議会質問に、拒否の姿勢を示したのか。

③6億円の補助金を支出した市立たかはた保育園の民営化について

河内氏の関与が取り沙汰されているが、市の方針・指示のもとに動いていたのか。

6億円という多額な補助額も疑問。地主の方へのアプローチ・要請は誰が行ったのか。

質問の結果は、次号で報告させていただきます。

PCR検査の
抜本的拡充と
感染情報の開示
を求めて



▲高幡不動駅前で宣伝する
中野あきと市議(中央)と
大高哲史市議(右)

▶署名簿を持って
南平地域を訪問する
清水とし子・都議予定候補



日野市「財政非常事態宣言」から半年 〜決算等から見える事実〜

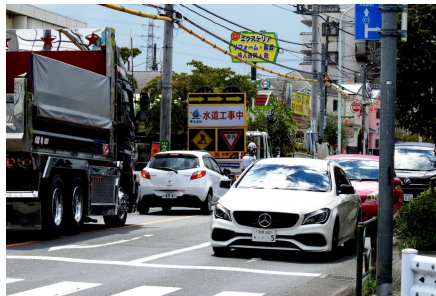
日野市は、今年2月に都合3回目となる「財政非常事態宣言」を出しました。その理由の主なもの、今年度の予算に、何にでも使える「財政調整基金」から25億円の取り崩し、残金が約13億円になった。来年度も同程度度の取り崩しが必要になった場合には、足りなくなり予算が組めなくなるから大変というものでした。

になり、前年度の決算で今年度に繰り越す剰余金が、これも予想を超えて18億5000万円にも及ぶことが判明しました。

もちろん、コロナ禍のもとで、全国どこも自治体も来年度の予算編成を憂慮し、市長会などを中心に結束して国に財源保障を求めている状況ですが、日野市だけの「財政非常事態」だというのは事実には反するし、そう強調して市民に我慢を強いるなど許されないことです。

短信

毎日、新型コロナウイルス感染症の報道を見るのが日課になってしまった。さまざまなグラフや数値の変動に一喜一憂している▼あのときもそうだった。2011年の福島原発事故。テレビには水素爆発で破壊された原子炉建屋や、だるまを縦に割ったような原子炉の断面図が連日映し出されていた▼放射線量の測定単位であるシーベルトという専門用語も覚えた。放出された放射線の影響について「胸部レントゲン写真1回の数分の1」「ジェット機で成層圏を飛んだときあびる放射線程度のも」という解説が、まことしやかに流れていた▼ある日、朝のワイドニュースを見ていたら聞き覚えのある声が。音声のみの電話インタビューだが、知人のフォトジャーナリストMさんの声である。事故直後、数人の仲間と第一原発がある双葉町に飛んだようだ▼司会者の問いに「こんな強い放射能、大変ですよ」と、冷静な口調ながらただならぬ様子を伝えている。三台持ち込んだ測定器の針がいずれも振り切れたと。やはりそうなんだ。現地の生々しい報告に疑問は解消した▼PCR検査を抜本的に拡充することは世界の大勢。なのに日本ではそれを否定する主張もしきりに流れてくる。日本は負けないという神風神話を信じ込んだ世代だが、原子力村発の安全神話にも惑わされた。人生の晩年まさかのコロナ禍。情報は国民全体のもの。感染情報はしっかり開示させよう。



▲水道管工事で渋滞する北野街道

北野街道で水道管の取り替え工事

工期は8月27日から来年（2021年）1月までです。北野街道には2本の水道管が埋まっていますが、これを取り替える工事です。工事箇所では反対側1車線が交互通行となります。曜日や時間帯によっては相当の渋滞が予想されます。



【都政レポート】①

清水とし子 都議予定候補



PCR検査の強化と情報開示を求める署名（第1次分）を東京都に提出

8月25日、東京都知事に対して「新型コロナ感染拡大を抑えるために、感染震源地（エピセンター）の徹底検査と、地域ごとの感染状況の開示を求める緊急署名」第一次分11,013筆を、谷川智行・東京都委員会新型コロナ対策本部長（衆院東京比例予定候補）、共産党都議・市議とともに提出してきました。

署名を集める中で地域の方から「買い物以外ずっと家に閉じこもっている」「介護の仕事をしているが、自分がうつしたらと思うと不安でならない」といった声がたくさん寄せられました。

私は署名を受け取った東京都保健福祉局総務部長に地域の声を伝えるとともに、検査を抜本的に増やして高齢者や介護の現場で働く人々が安心して生活し、仕事ができる環境を整えてほしいと要望しました。

参加者から「入所している親に面会できず、やっと会えたら認知症が進んでいた」「商店街は、お客が来ず、閉店に追い込まれている」など、深刻な実態が次々と出されました。

谷川智行・本部長は、都・日本医師会からも感染震源地への徹底検査、無症状感染者も含めた検査体制の確立が求められていること、世田谷区などでの取り組みを参考に東京都の支援を求めました。

東京都保健福祉局総務部長は「しっかり受け止め、検査数等を増やすためにさらに努力する」と答えました。

日野市の新型コロナウイルス感染症対策 中小企業者への家賃補助が実現

日本共産党市議団が繰り返し要望書などで要求し、市議会でも実現を求めているものです。

円の支給が行われました。

新型コロナウイルス感染症に対応した日野市の支援策として「中小企業者家賃支援補助金」の支給が実現しました。

この事業は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、令和2年4月または5月の売り上額が、前年同月と比較して20%以上減少している市内中小企業者・個人事業主などに、令和2年4月分および5月分の事業所・店舗などの家賃の2分の1（上限20万円）を補助するものです。

6月15日から7月31日までに申請があった947件に対し、約1億2500万

新型コロナウイルス 感染情報 の公表に差

「市内の感染状況はどうなっているのか」とよく聞かれます。しかし、日野市のホームページにあるのは新感染者数、累計感染者数、すでに退院などされた方の数のみで、詳細は分かりません。

世田谷区では、男女、年代、地域、重症患者、死亡者、感染源、濃厚接触者などの状況も開示し、さらに「感染情報」は、14もの項目に分けて公表しています。市民が住んでいる街の感染状況を知りたいことは、感染防止行動をとる上での大前提です。23区や中核都市に指定されている八王子市や町田市は、直接保健所を統括していますが、それ以外の多摩地域、島しょ部は、南多摩保健所（日野市、多摩市、稲城市）など、東京都が統括する6箇所の保健所が担当しています。

＜平山の虫はかせ＞ なかむらさんの昆虫の話



⑤ ルリクワガタ

標高1000～1500m付近のブナ、ミズナラ帯に分布する、ブルーやグリーンにかかやく小さなルリクワガタが、

関東・中部地方（山梨、長野、新潟、群馬県）等で、5月下旬から6月中旬にかけて発生します。

山地で雪が解けたところから、ブナ、ミズナラ、トネリコ等の新芽が少し開いたときに飛んで来て、新芽に頭をつっこんで食べます。ちょうど山菜が芽を出す時期で、フキノトウ、コシアブラ、タラノメ等が出ています。

クワガタ類は、卵が生まれてから成虫（親）になるまで3年もかかります。幼虫は立ち枯れや倒木の材を食べて成長します。ルリクワガタの大きさは、1～1.5cmくらいと小さく、一般の方にはなかなか見る機会がないと思います。標高の高いところで3年よく生きのびているなあと感じます。成虫の寿命は1ヶ月くらいで、交尾をし、子孫を残して終わるのです。

（虫を集めて60年余）平山6丁目 中村 芳樹

【10月の無料法律相談日】10月8日（木）

会場 日野市役所6階共産党控室

お申込みは清水とし子事務所 ☎042-582-1042

しんぶん

赤旗

日刊●月3497円 日曜版●月930円

◎短期間のお試し購読。一部売りも。

お気軽にお申し込みを。中野あきと事務所